

# 成人式 晴れやかに

1月9日に、2001年生まれの新成人が参加した成人式が文化会館にて行われました。参加者を学区ごとに2部制にし、感染症対策を行った上で開催しました。友達との再会に、マスク越しでもはつきりと分かる笑顔があふれていました。

式典は、15人の実行委員会メンバーが約半年をかけて企画し、練習を重ねたパフォーマンスが披露されました。

今年「翔碧く晴れ渡る未来へ おもいを永遠にく」をテーマに、コロナ禍の暗い世の中で、明るい未来を願い未来へ飛び立ち挑戦していきたい。それぞれが飛び立つ中でも「碧南」という帰る場所があると思っしてほしいという思いが込められています。この思いは、実行委員たちの語りやパフォーマンスで表現されています。

式典は、市長の祝辞で始まり、次に、子どもの頃から現在までの懐かしいスライド、当時の先生からの動画が流れ、20年間の歩みを振り返りました。会場からは、歓声や笑い声が聞こえてきました。

そしていよいよ、実行委員による和太鼓や篠笛、和傘を使ったパフォーマンスです。パフォーマンスを指導した和太鼓衆SHIN代表の塩崎智由氏による成人式のためのオリジナル曲「HEKIREKI」が披露されました。息の合った和太鼓などの迫力に、会場は圧倒されているようでした。



# 成人式の裏側

## 練習の日々

6月17日に最初の実行委員会が開催されました。テーマをどうするか、どのような流れにするか何度も話し合い、9月頃にパフォーマンスの内容が決まりました。何をやるか決まったら、練習あるのみです。学生や社会人など、いろいろな立場がある中で、時間を作って練習を重ねていきます。太鼓の一部分が難しく、3日間練習し続け、やっとできたこともあるそうです。

12月23日には、実行委員の先輩たちが見守る中、初めて全体を通しての練習が行われました。今までの頑張りが伝わる一方、先輩たちからは、改善点が指摘されていました。代々、先輩たちからのアドバイスが引き継がれることにより、良い成人式ができています。



碧南市の成人式は、過去に成人式大賞を受賞したこともあり、内容だけでなく実行委員が企画・運営をしている点が全国的に素晴らしいと評価を受けています。その裏側に密着しました。

## 多くの人に支えられて

パフォーマンスを指導した塩崎さんは、「短期集中だからこそ生まれる感情を味わえた。3か月の練習でここまで一つになれることは中々ない。誇らしく思う。」と述べました。それぞれの個性を生かすために、夜遅くまで練習に付き合ったそうです。

また、当日はHEXPOSTAFF（ヘキサポスタッフ）やおやじの会のメンバーに受付や誘導、座席の消毒などを手伝ってもらいました。実行委員だけでなく、多くの人に支えられて成人式が運営されています。

さらに、手伝ったHEXPOSTAFFからは「かっこよかった。来年実行委員をやりたい。」と直接見たことによって来年への意欲が高まっていました。

## 成人式を終えて

実行委員の関拓馬さんは、「12月にやっと通して練習ができた。それまでに、練習量により実力差ができてしまい、モチベーションが下がる時があった。そんなときも、みんなで励まし合って、乗り越えてきた。最後はみんながやらなきゃという同じ思いになった。今は、達成感でいっぱい。」と話しました。

パフォーマンスが終わり、幕が下りると、実行委員たちの顔には涙があふれ、その後の晴れやかな笑顔が印象的でした。

